



## DNW-19008 の概要

課題番号 : DNW-19008

課題名 : 転写因子 RUNX1 を標的とする新規がん治療薬の検証

主任研究者 (Principal Investigator) :

合山 進 (国立大学法人東京大学医科学研究所)

課題番号 DNW-19008 では、転写因子 RUNX1 を標的として、新たながん治療薬の創出に取り組んでいる。

- 創薬コンセプト :

RUNX1 の機能制御に関わる新たな分子機構を見出したことから、この分子機構を利用した新たな治療薬創生を目指す。

- ターゲットプロダクトプロファイル :

既存薬が十分に奏功しない RUNX1 依存性の腫瘍に対して、単独あるいは既存薬との併用で抗腫瘍効果を示す分子標的薬。

- 創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス :

以下のことが PI らにより報告されている。

RUNX1 の機能制御に関わる新たな分子機構を見出した。この分子機構を RUNX1 依存性のがん細胞株に導入することで、がん細胞株の増殖が抑制された。

- 最終目標 :

本ステージでは高活性化合物を取得する可能性を検討し、その後は企業導出可能な化合物取得を目指す。

本資料は、創薬総合支援事業 (創薬ブースター) による支援の終了時の情報をもとに作成しています。